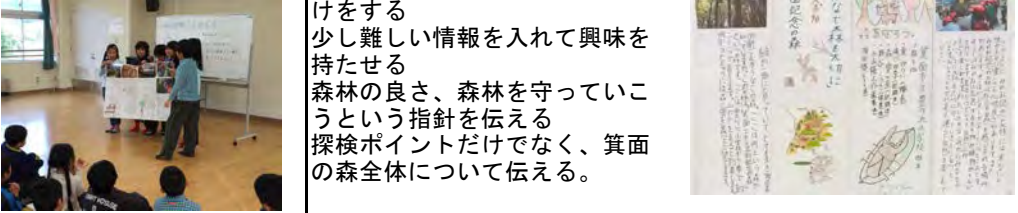



事例報告 H28-6(1)

団体名： 箕面市立豊川北小学校（大阪府）・（箕面森林ふれあい推進センター外）

| | | |
|---|--|--|
| プログラム名： 森の探検隊 | | |
| (1) プログラムの目標 | <p>森林を活用して、動植物の生態を知ること。森林があることで生活にどう関係しているかを知ること。</p> <p>探検ポイントを設定して、それを回りながら、自然との関わりなどを学習する。</p> <p>森林の中に入ることで、自然と親しむことが気持ちのいいことであることを体感することができる。</p> <p>自分たちの身近な所に素晴らしい自然があり、その自然を自分たちの手で守っていかねばならないということに気付く。</p> | |
| (2) プログラムの概要 | <p>事前に班分けと役割分担をすること。</p> <p>回るポイントが重複したり、似たような設問ポイントとならないように、グループ分けしたポイントから、班ごとに回るポイントを決める。</p> <p>4名～5名の班で、探検ポイントを回って、ポイントで出される質問の答えを考える。</p> <p>質問は、そのポイント周辺を観察することでわかるものや森林や昆虫・動植物、環境に関する課題などを出している。</p> <p>回答用のカードに設問、ヒント、答え、感じたことなどを記入する。</p> <p>学校に持ち帰って、回答を整理し、模造紙にポイントの回答と体験して感じたことなどをとりまとめる。</p> <p>各班による発表会を実施し、発表や質疑により地元にある箕面の山、森林環境について、学ぶ。</p> | |
| (3) プログラムの展開 | | |
| 時間数 | プログラムタイトル | |
| | 活動内容 指導・支援の方法、ポイント等（教材等） | |
| in（～の中で）、about（～について）、for（～のために）の視点で活動内容を区分 | | |
| 1 | 森の探検隊のための準備 探検ポイントをグループで決める グループ内の役割分担を決める | 回るポイントや学習する内容が重複しないように、児童の希望を聞きながら事前に振り分ける 役割分担をすることで各人の責任を与えること 班で発表することを事前に伝えることで、班で協力して取り組むことを意識してもらう 各班にリーダーシップの取れる児童の配置 支援児童への配慮 |
| | 森の探検隊 探検ポイントを回り設問内容の回答を考える 大人のリーダーに疑問点を質問する | 子どもたちの自主性を尊重し、 分担した役割を果たすように誘導する 間違っていたり、わからない場合は助言する 発表に必要な観点で写真を撮るように指示する |
| 2 | フォトフレーム作り、自然工作、水辺の生き物調査、ビジターセンター見学 森の探検隊で拾った自然のものを使ってフォトフレームを作成する。 木の実や木の枝などを作って自然工作をする。 ビジターセンターで箕面に生息する生物や植物の実態について知る 水辺にすむ生物の実態や生態について知る | 全員が作品を仕上げることができるように目配りをする 自分の使いたい自然の物を拾うことを指示する 箕面に生息する生物や植物の実態を自分の目で確認できるように指示する。 水辺の生き物にはどのようなものがあるか、自分の目で確かめさせる。 |
| |  |   |
| 6 | まとめ、発表原稿づくり 図鑑、インターネットなどで調べる 個人の箕面の森の生き物リーフレットを作り、模造紙にグループで大きな箕面の森の生き物リーフレットを作る。 | 学習で、わからなかったことや詳しいことを調べることで理解する。 国語の説明文教材「アップとルーズで伝える」で学んだことを使い、リーフレットづくりをする。 説明文の三段構成を使って、紹介文を書かせる。 資料と説明文がリンクするように指導する。 |
| |  | |

| | | | |
|---|---|---|--|
| 2 | 発表会 みんなの前で発表する 箕面の山について知る | 発表に対して評価をする 授業で学習したこととの関連付けをする 少し難しい情報を入れて興味を持たせる 森林の良さ、森林を守っていかうという指針を伝える 探検ポイントだけでなく、箕面の森全体について伝える。 |  |
| |  | | |

(4) プログラムでの連携内容
(教育機関、地域、団体等での、①連携・協働先、②役割分担、③具体的な連携・協働の内容)

1. 箕面森林ふれあい推進センター 「森の探検隊」プログラムの指導
2. 大阪森林インストラクター会 「森の探検隊」の補助者として、各班について助言
3. みのお山麓保全委員会 箕面ビジターセンター施設の見学、水生昆虫観察の指導、木工クラフト作りの指導

(5) 活動の分析 (学習指導要領との関連または森林環境教育の視点) 上位3項目

| 教科・項目、視点 | | 学習内容 |
|------------|---|--|
| 総合 4年社会 | 自然体験・地域の特色 地元を知る | 自分たちの住んでいる特色ある地域について関心を持ち、それらを意欲的に調べることを通して、地域社会に対する誇りと愛情を育てる。 また、自ら課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的・創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。 |
| 4年理科 | 生命・地球 季節と生物 | 生物を大切にできる態度を育て、動物の活動や植物の成長と環境との関わりについての見方や考え方を身につけることができるようにする。 |
| 道徳 特別活動 | ・生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にする。 ・自然のすばらしさや不思議さに感動し、自然や動植物を大切にすること。 | 自然体験や体験活動、観察、調査、発表や討論などの学習活動を積極的に取り入れる。 |

(6) 活動の分析 (資質・能力の視点)

| 項目 | E S D の要素 (7つの能力・態度) の視点から、もっとも重視する視点の内容を記載 |
|-----------------------------------|---|
| ①生きて働く「知識・技能」の習得 | 「多面的」 森林の中で、木や植物、動物のことを観察することや生活の中で利用していることに繋がっていることを理解する。 実際の森林で活動することで、生息する動物や植物について興味・関心を持ち、森林についてより知ろうとする意欲が伸びる。 森林環境を守るために自分たちができることを考えるなど、自然との関係を考えるきっかけとなる。 |
| ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成 | 「コミュニケーション」 活動を通して、自分の役割を果たすだけでなく、グループの中で助け合い、意見を交わしながら、ポイントの設問の答えをすることができる。自分の意見を押し通すのではなく、友だちの意見を尊重することができる。 子どもたちそれぞれがグループで活動することによって、意見を交わし合い、行動を選択できる力が身に付く。 |
| ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性」の涵養 | 「協力」 グループとして伝えたいことを一人で作るのではなく、仲間と推敲し、良いものを作ろうとする姿勢が成長する。 自分の役割外のことも進んで協力しようとする協調性が身に付く。 何事にも進んで取り組み、仲間と共に何かを成し遂げようとするすることができる。 |

(7) 実施後、参加者の変化

グループで活動し、自分たちで行動プランやその時折に話し合っで判断することで、自分たちで考え、仲間と協力して行動するという協調性が成長した。何事にも自分たちで話し合っで、自主的に行動する児童が増えた。
「箕面の森の森林は素晴らしい」「こんな良いところが箕面にあったなんて知らなかった。また、来たい。」など自然を感じることに素晴らしさに気付いた児童が殆どであった。
また、自分たちが体験して感じたことや考えたことをどのように伝えるかということを考えることで、伝え方や伝える方法などを考えることができた。

箕面の森ってすごい！！ だから、みんなに伝えよう！

一見て、触って、聴いて、書いて、伝えるー
箕面「森の探検隊」



箕面市立豊川北小学校

★学習の展開①

学習の
必要感

- ★国語の学習で
 - ・リーフレット作りの構成
 - ・言葉
 - ・体験時の観点を指導



課題設定

- ◇事前学習
- ★グループ決め
- 役割決め
- ポイント決め

★国語の要素
説明的文章の・知識・
技能

コミュニケーションカ
リーダーシップ

★社会の要素
地域の特色への関心



体験

★学習の展開②

◇箕面の森散策

- ・グループそれぞれがポイントを巡り探検ポイントの課題に臨む

★道徳の要素
自然・生命尊重



★事前学習の観点
で、写真や情報
を記録

★国語の既習事項の
実践

情報収集

★学習の展開③

◇ポイントには、学校で学習した
学びを活用する課題がたくさん。

★算数の要素
量や測定・面積の
・知識・技能

★理科の要素を持つ
ポイントや
算数の測定の技能を
必要とするポイントも



★理科の要素
季節と生物・天気の
・知識・技能

体験

★学習の展開④

◇自然を多面的に知ること
ができるプログラム

★箕面の川の水中に住む
生物の観察や森に
生息する動物、植物を
知る。木の枝、木の実
などを使っての工作も。

★理科の要素
季節と生物・天気の
・知識・技能

★図工の要素
季節と生物・天気の
・知識・技能



整理分析

★学習の展開⑤

表現

◇発表の準備

- ・調べ学習
- ・リーフレット作り
- ・発表の練習

★社会
資料の収集・活用・整理



★体験したことを深める
ために調べる。

そして、伝えたいことを既習事項
をいかにして伝わりやすいように
まとめる。自分たちの意見や考え
もまとめる。



★国語の要素
説明的文章の・知識・技能

交流

★学習のまとめ・発表会

まとめ
表現

◇作ったリーフレットを示しながら、グループ毎に
発表を行う。

★グループ毎の考え方や同じポイントでも視点の違
いなどが見られた。



箕面の森ってすごい！！ だから、みんなに伝えよう！

—見て、触って、聴いて、書いて、伝える—
箕面「森の探検隊」

箕面市立豊川北小学校

★箕面「森の探検隊」による 本校の子どもたちの学び

- ★この森を**ずっと大事にして守っていき**たいです。自分たちができることは「ゴミのポイ捨てをやめる」ことや、**やれることをしていきたい**と思いました。
- ★みのお記念の森には、町で過ごしていると気づかなかった植物があり、また、珍しい動物とも会えるかもしれません。この自然を大切にしたいと思います。
ぼくたち、私たちにできることは何かを考えて取り組みたいです。例えば水を大切に使ったり、無駄使せずゴミを減らしたりするなどをしていきたいです。
- ★箕面記念の森は、とても自然豊かで心がリフレッシュされるので、**箕面記念の森をみんなで守っていきましょう。**

★森林体験による子どもの学び

- ★見るだけでなく、触れて、匂って、聴いて森林を感じることによる学び。
- ★非日常的な環境へのワクワク感
- ★森林そのものが、子どもを自ら進んで学習に取り組みたいと思わせる絶好のフィールド
- ★様々な教科の実践や実感、発展
- ★グループで活動による協調性
- ★誰でも主役になれる場面がたくさん



森林体験学習は
子どもにとって素晴らしい
学びの場

